

学会誌『インドネシア 言語と文化
(Bahasa dan Budaya: Jurnal Himpunan Peneliti Indonesia Seluruh
Jepang)』
執筆要領

2016年12月

1. 原稿の作成にはワープロソフト(できればMicrosoft社Word)を使用してください。
Word以外のソフトを使用した場合はソフトの種類をお知らせ下さい。
2. 原稿の形式、スタイル、分量は以下の通りです。
 - A4判
 - 余白は上下左右に25mm
 - 42文字×40行
 - 横書
 - 20ページまで(脚注、参考資料、参考文献を含む)
3. 本文中の文字の種類は、MS明朝体(日本語文の場合)とTimes New Roman(英語・インドネシア語文の場合)とし、表題と見出し(章・節・項など)は太字とする。文字の大きさは、表題と氏名が14ポイント、要旨、本文、参考文献が10.5ポイントとする。脚注は9ポイントとする。
4. 原稿は、表題、執筆者氏名、要旨、本文と脚注、参考資料、参考文献の順で構成する。
5. 表題は、日本語とインドネシア語あるいは英語を併記し、中央に配置する。
6. 執筆者氏名は、日本語とアルファベットを併記し、右寄せとする。
7. 要旨は、本文が日本語の場合はインドネシア語か英語、本文がインドネシア語の場合は日本語か英語にする。
8. 本文の使用言語は、日本語、インドネシア語、英語のいずれかとする。
9. 見出しは左寄せとし、章番号は、1., 2., 3., …、1.1, 1.2, 1.3, …、1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, …, とする。見出しと本文の間は行をあけない。
10. ページ番号は付けない。

11. 図表は原稿の中に取り込む。
12. 日本インドネシア学会は、本誌に掲載された原稿の一部または全部を電子化媒体によって複製、公開し、公衆に送信することができるものとします。
13. 会員には電子版(PDF形式)により配布し、紙版は関係図書館等に配布いたします。